

ISO/TC 283 コミュニケ
第3回総会、キガリ、2019年10月

概要

第3回目 ISO / TC 283 会議が 2019 年 10 月 6～12 日、ルワンダ/キガリのコンベンションセンターで開催された。

出席：

- ・ P メンバー国 : 35
- ・ O メンバー国 : 5
- ・ 外部リエゾン : 6

電子会議システムでの参加者を含め約 97 人の参加者が会議に参加した。



ISO/TC 283 総会代表団、2019 年 10 月 ルワンダ/キガリ



2019 年 ISO/TC 283 総会、アフリカ 24 ヶ国の代表が参加

ISO 能力開発ワークショップ

ISO / TC 283 会議前の週末に、ISO は 2 日間の能力開発ワークショップを開催し、メンバー団体が標準化、プロセス、ISO 45001 及び ISO / TC 283 の作業について学ぶ機会を提供した。



キガリのパークインホテルで開催された ISO スポンサーの本ワークショップは、非常に好調で、新メンバーは TC 会議に十分貢献し、参加することができた。



オープニング総会

マーティン・コッタム議長が、世界中から集まった同僚を歓迎し、ホストのルワンダ標準局（RSB）を紹介した。



RSB の事務局長レイモンド・ムレンジ氏（左）は、各国代表のルワンダへの来訪を歓迎した。

ルワンダ通商産業省のミシェル・ミネガ・セベラ事務局長（右、下）は、ISO / TC 283 の活動に対する政府のコミットメントと支援について話した。



議長は開会の挨拶で、委員会の各グループの作業進捗を示し、ユーザーが必要とする文書を適切な時期に作成するため「完璧ではないが十分良い」を目指すことの重要性に焦点を当て、多数の新メンバー団体と代表が会議に参加しているため、積極的な参加を強調し、各メンバーが自国の経験を共有し、OH&S の課題とその対処方法の理解を深めることに貢献するよう奨励した。



総会では、オーストラリア出身の長年のメンバーのスタン・ロジャース氏（左、2019年の夏逝去）を追悼した。スタンは ISO 45001 の開発に多大な貢献をし、規格に対する熱心な支持者であった。オーストラリア代表のデイビッド・ソロモン氏が、多くの人に惜しまれるスタンを追悼して挨拶をした。

地域円卓会議：アフリカの視点

様々な地域の視点について理解を深め、多くのアフリカ諸国の会議参加を活用するために、オープニング総会の午後のセッションで特別なパネルディスカッションが行われた。



座席左から右へ：ウガンダのサフィーナ・ナムツガ、南アフリカのジェリー・ラムダニー、ルワンダのエリシー・ガシュギ、ボツワナのアビゲイル・ランコクワネ、モロッコのアブデルジャリル・エル・ホルティ、ジンバブエのタテンダ・ニエンダ、エチオピアのアレマイエフセテグン。ファシリテータは、ボツワナのステラ・タワナ（左端）。

アフリカ 7 か国の代表団長は、各地域の主要な OH&S 課題とそれに取り組むために取られているイニシアチブについて雄弁に語った。ISO / TC 283 のアフリカ地域代表の 1 人であるステラ・タワナ博士が進行役の本セッションは非常に人気のある教育セッションとなったが、今後、様々な大陸での TC 会議で継続される予定である。

ISO/TC 283/CAG(議長諮問グループ)

議長諮問グループ（CAG）は、全体会議が始まる前の日曜日と TC 会議が終了した後の土曜日の 2 回会合した。

メンバーは、TC リーダー、プロジェクトリーダー、TG/WG リーダー、地域代表のリーダーが含まれ、国ベースではなく役割ベースであり、プロジェクトの開始と終了に応じて時間とともに変化する。

CAG は、原案作成とコメント処理の透明性確保の必要性、プロジェクトの日程保持に取り組むことの重要性など、目標を確実に達成するための好ましい作業方法を集中して議論した。クロージング総会で決議の問題が提起され、TC リーダーは決議が提示される前に確認の機会を確保し、全メンバーが決議の意味を理解するために十分な時間と議論をすることを確実にする必要があると議論した。

注：この会話と会議のフィードバックに続いて、結果がすべてのメンバー団体の立場を反映することを確実にするため、キガリのクロージング総会の決議が説明付きで、投票のために発行されることとなった。



ISO/TC 283/TG1 コミュニケーション



会議は、キャシー・シーブルック含め 3 人が参加し、次の事項に焦点を当てた。

- ウェブサイト上の記事の検証プロセス
- 標準化団体とのネットワーク構築
- コミュニケーション計画
- よくある質問
- 地域インタビュー

ISO / TC 283 の全メンバーは、委員会のウェブサイトに掲載を検討する記事、リンク、その他の関連コンテンツを提出することができ、ISO / TC 283 の作業の認知度を高めるために、

ソーシャルメディアを使用することを強く推奨する。ハッシュタグ #isotc283Rwanda は成功で、写真、記事、会議の更新情報が 1 週間にわたって広まった。ハッシュタグ #isotc283 はいつでも使用可能である。ISO / TC 283 Web サイトは次の URL (<https://committee.iso.org/home/tc283>) で発展中である。

ISO/TC 283/TG2 用語

トレバー・ドッド(左から 2 番目)がリーダーの TG2 は 8 人 (3 つの P メンバー国) で会合した。

- ISO 45003 の「心理社会的リスク」の定義に関するコメントを解決する
- ISO 45003 の「職場での健康」を定義する
- マネジメントシステム規格の上位構造のレビューの用語コメントを TG3 にインプットする

TG は、WG で問題が生じた場合や定義が必要と決定された場合にのみ会合することに同意した。開発中の定義のデータベースが保持される。



ISO/TC 283/TG3 付属書 L の改訂

TG3 は、ISO 専門業務用指針に含まれるマネジメントシステム規格に関する上位構造と関連ガイダンス資料、の改訂された最初の原案を議論するために会合した。

本 TG のコンビナーのフランスのキャサリン・モンタニオンが ISO / TC 283 に不参加となったことを受け、ウエ・マーカス（ドイツ）が、改訂を担当する ISO タスクフォースでマーティン・コッタムと共に TC283 を代表し、次回 2020 年 1 月シドニー会議に出席する。

合意された主なコメントは次のとおりである。

- 定義案に関するコメント
- 組織の知識の重要性と、これに関する付属書 L ガイダンスの必要性
- 変更の管理に関する箇条の新しい表現
- 8.1 運用管理下の新しい表現



ISO/TC 283/WG2 職場の精神的な安全衛生

ノーマ・マコーミックとスタヴロラ・レカは、19 か国の代表約 40 人とリエゾン 3 人を主導し、ISO 45003 の WD3 に関する約 600 件のコメントを処理した。



WG2 会議で行われた重要な決定は次のとおり。

- 「心理的健康」より「職場の健康、安全、ウェルビーイング」を規格内で広義の言葉として使う
 - WD3 の付属書に含まれる実践的な手引きを本体に移し、付属書はツール、文書例のみとする
 - コンセンサスを得たら、WD 段階から DIS 段階に直接移行し、プロジェクトを計画とおり進める
 - コンセンサス構築の機会を最大限生かすため、各国国内委員会に今後の WD コメント照会をする
- 順調な進歩にもかかわらず、会議の終了時点で処理必要な多数の箇条のコメントがまだ残ったため、対面会議後に、ウェブ会議でこの処理を行うよう決定された。WD4 はできるだけ早くコメント照会用に回付される。

ISO/TC 283/WG 3 実践ハンドブック

36 か国とリエゾン組織 3 つが WG3 会議に参加し、小規模組織向けの実践ハンドブックの承認済み最終原案に対する 258 件のコメントを処理した。



技術的コメントはすべて、会議で解決され、2019 年末までにハンドブック発行の予定である。
プロジェクトリーダージェリー・ラムドニーを助けて、議論を促進したヤン・トフト・ラスムセン（写真の左端、右下）、優れた秘書サポートを提供したアンドリア・ヴィエル（左）に感謝する。

品質は妥協せず、迅速で効率的な方法でユーザーに期待される文書を作成した WG3 を祝したい。



ISO/TC 283/WG 3 ISO 45002 実施の指針

ハンドブックの作業終了後、WG3 では、9 月の投票による承認に続いて、Stefan Larsson 主導で新しい正式な実施の規格 ISO 45002 開発の最初の会議を開いた。日程計画は、下の写真のグループによって作成された。新しい標準の作業原案は、2020 年の前半に予定されている。



OH&S パフォーマンス測定



デビッド・スミス（左）は、「パフォーマンス測定：先行及び遅行 OH&S 指標」新業務項目提案（NWIP）の開発について議論する会議を主導した。
スタヴロラ・レカ（右）はジェラルド・ツヴェツロツトが率いる ISSA（International Social Security Association 国際社会保障協会）の研究成果を発表した。



キャシー・ブルック（右）は“GRI 403 OH&S 基準-持続可能性/企業の社会的責任の報告”と ILO 世界安全デーのシンクピース“OH&S の点をつなぐ”を発表し、パフォーマンス測定に関する議論を引き続き TC 283 に知らせると話した。GRI 標準は 2018 年 6 月に公開された。



会議のアウトプット：

- ユーザーは、先行及び遅行指標に関するパフォーマンスを測定するためのガイダンスが必要
- 現在の仕事は主に遅行指標に焦点を当てている
- 多くの組織が ISO 14001 及び ISO 4500 のユーザーに共通の目標を設定しており、これらの連携には価値があり得る
- ISSA は、先行指標に関する研究と調査を終了し、2020 年 3 月に完了させ、最も効果的な OH&S 指標に関するガイダンスを提供する予定である

本トピックは、メンバーが 2020 年に承認投票を行う正式な提案を作成できるようにするため、予備作業項目として ISO プロジェクトポータルに登録される。

社交行事



RSB は ISO / TC 283 をキガリに歓迎し、レミゴホテルで素晴らしいドリンクレセプションを開催した。ライブ音楽、歌、ダンス、美味しい料理は、1 週間を始める素晴らしい方法で、メンバーお互いをよりよく知るよい機会となった。

会議初日はいつも疲れるため、特に仕事の話はやめて、ダンスするよう勧めていただいたホストに感謝する。

キガリジェノサイド記念博物館



代表者は会議週中にジェノサイド記念博物館を訪問した。1994 年に虐殺された数百万人以上のルワンダの人々を記念する博物館は、複数の集団墓地でもあり、ジェノサイドに至る行動とプロパガンダの長い歴史を示している。

各代表は、博物館が非常に心を打ち、多くの人々が殺されてから 25 年で和解され再建された平和な社会についてコメントした。

訪問終了にあたり、各代表は大墓の一つにバラを敷き、RSB の代表者であるジェーン・ニャンヴンバは、出席者が沈黙して記憶を呼び覚ます中、マ

ーティン・コッタム議長と花輪を捧げた。

決議

クロージング総会で 3 件の決議が承認されたが、CAG 会議でのフィードバックと議論の後、決議及びその将来的な意味について十分理解されていないと判断されたため、これらの決議は書き直され、説明が付けられて、委員会内投票に付されることとなった。

改訂された決議は次のとおり。

決議 1 / 2019-10

ISO / TC 283 は、以下を確立することを決議する。

TG4 発展途上国調整グループ

このグループは、ISO によって開発途上国であると認められたすべての ISO / TC 283 メンバー団体に開かれる。

注：代表国からの1人のコンビナーが投票により任命される。関心の表明を求めます。

本TGの目的

- 発展途上国向けのISOプログラムの実施を促進するためのISO/TC 283グループとする
- 発展途上国のメンバー団体におけるISO/TC 283への国内対応委員会の設立と運営を支援する
- 関連する標準化のニーズを特定し、発展途上国の利益のために開発される標準のISO/TC 283への提案を行う
- ISO/TC 283によって開発された標準が開発途上国のニーズに応えることを確実にする
- ISO/TC 283WGへの有意義な参加を可能にするために、発展途上国に支援を提供する
- 標準化に関するトレーニングのニーズを特定し、ISO/TC 283を介してISOに提案する
- 発展途上国調整グループ(DCCG)の活動に関する報告書をISO/TC 283総会に提出する
- 地域の協力と活動の調整を促進する
- ISO/TC 283内の発展途上国と先進国間のツイニングの取り決めに調査する

修正決議2/2019-10

注：提案された作業は恒久的な作業グループには適さず、作業はISO/TC 283/WG3の専門家の指示の下にあるべきであるというISO中央事務局からのアドバイスに従って、TCの事務局はアドホックグループの設置提案を行うように決議を修正した。

ISO/TC 283は、次の確立することを決定する。

ISO/TC 283/WG3/AHG サポートツールおよびその他の資料

本AHGの目的

1ページの無償ガイダンス文書を含む、ISO 45001の実施を支援する非公式ツールをさらに開発する

決議3/2019-10

ISO/TC 283は、以下を確立することを決議する。

予備作業項目(PWI) OH&S パフォーマンス測定 (タイトルは今後合意)

この決議の目的

このトピックに関するいくつかのプレゼンと会議に続いて、ISO/TC 283はOH&Sパフォーマンスを支援するための測定標準の開発を希望するが、作業を開始する準備がまだ整っていない。

ISOでは、ISOプロジェクトポータルで新規格開発への関心を登録することを許可されているため、正式な新作業項目提案(NWIP)が投票されプロジェクト日程が開始される前に予備作業が行える。予備作業項目(PWI)が投票されて承認されると、承認作業項目(AWI)になり、プロジェクトの日程が合意される。

今後の会議

会議4：2020年5月24～30日 メキシコ **提案**

会場の詳細と日付の確認は、2020年の終わりまでに確認される。

会議5：2020年10月11～17日 エルサルバドル/サンサルバドル 確認済み

2021年以降

2021年以降の会議を主催可能メンバーは、早めに委員会マネージャーに連絡いただきたい。

上の写真の大部分を提供してくれたヤン・トフト・ラスムセン、アンドリア・ヴィエル、デイビッド・ソロモン、ファビエン・シズルング、及びその他の写真家に感謝します。

作成：

サリー・スウィングウッド

ISO/TC 283 委員会マネージャー

BSI 代表, 2019年11月1日